

# 滋賀県多賀町における 観光ガイドフリーペーパーの作成を通じた観光誘致



## DATA

### ●主な連携先・メンバー

多賀町観光協会および同地域の施設、企業等／関西大学総合情報学部 岡田朋之ゼミ多賀町ガイド制作チーム

### ●活動地域

滋賀県多賀町

### ●活動資金

総合情報学部実験実習材料費（冊子の印刷費として）

## 活動の目的

- 1 多賀大社および周辺の施設、飲食や土産物等の商店をわかりやすく紹介し、観光振興をはかる
- 2 観光ガイド制作を通じて、地域の抱える問題を把握、理解し、解決の方策を具体的に検討した上で実践する

## 連携にいたる経緯

近年のインバウンド観光の拡大により、当該地域周辺でも対応が急がれていたが、外国語案内や、若年層への訴求する情報展開などが不十分であるという認識があり、学生たちの目線でガイドを作るという企画が地元のニーズに合致した。

## 活動内容

観光客向けのガイド冊子（A5判中綴じフルカラー全10ページ）を制作。取り上げる対象は、多賀大社まで至る最寄り駅からのルートに沿った店舗をピックアップし、関係者への詳細な聞き取り取材のもとに誌面制作をおこなった。

全体構成としては、若者への発信力が不足しているという地元観光協会の認識を踏まえて、InstagramなどのSNSでの発信力のある10～20代の女性にターゲットを絞り、写真の量を多くし、文字を必要最小限にとどめることとした。また判型は街歩きで手にとって使いやすいA5判とした。さらに主要なトピックにハッシュタグ（#）をつけて、SNSで共有してもらえるように配慮している。

印刷したのは合計200部で、大部分を多賀町観光協会の案内所に配架し、それ以外を協力店舗に配布した。



## 活動の成果

- 1 多賀大社への参詣ルートに沿ったユニークなお店を見栄えよく紹介する冊子が完成し、観光協会からは一定の評価を得られた
- 2 取材に当たり、地元の取材対象者の意向にいかに関わり添うかが重要である点を強く認識できた

## 今後の課題・目標

- 1 冊子のデザインや制作作業のワークフローについての再検討が必要であること
- 2 日本語だけでなく、英語や中国語など多言語での展開をおこなって、外国からの観光客にも対応すること

## ●教員紹介



総合情報学部 教授 岡田 朋之(おかだ ともゆき)

専門はメディア論。情報メディアの革新が人々の日常生活とどう関わっていくかについて、主に携帯電話やスマートフォンなどのモバイルコミュニケーションの変化から研究している。ゼミでは「メディアをつくる、社会を考える」をテーマに置き、メディアやイベント等の制作を踏まえて社会の問題を考察することを課している。